

(11) 沖縄



沖縄地域では、景気は回復の動きがさらに緩やかになっている。

- ・ 観光は緩やかに持ち直している。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は厳しい状況にあり、持ち直しに足踏みが見られる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

前回調査からの主要変更点

	前回(平成24年8月)	今回(平成24年11月)	
景況判断	緩やかに回復しつつある	回復の動きがさらに緩やかになっている	
観光	持ち直し	緩やかに持ち直し	
住宅建設	大幅に減少	大幅に増加	
雇用情勢	持ち直し	持ち直しに足踏み	

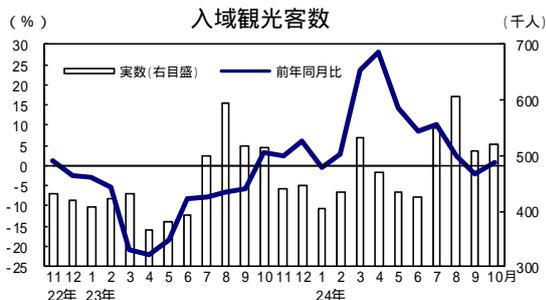
1. 観光及び企業動向

(1) 観光は緩やかに持ち直している。

入域観光客数のうち、国内客については、7月、8月は旅行需要が安定していたため、前年同月実績を上回った。9月は週末に大型台風が2回接近したことに加え、国内外観光地との競合もあり、8か月ぶりに前年同月実績を下回った。10月は東京方面からの客数が増加したことなどから、前年度実績を上回った。

外国客については、外国航空会社の就航路線の増加、海外の大型クルーズ船の寄港回数の増加等により、7月から9月にかけて前年を大幅に上回ったが、尖閣諸島を巡る状況の変化の影響等もあり、10月は13か月ぶりに前年度実績を下回った。

主要ホテルの客室稼働率は、例年より台風が多く発生した影響もあり、4期ぶりに前年同期を下回った。



入域観光客数等の動向

(単位: 千人、%)

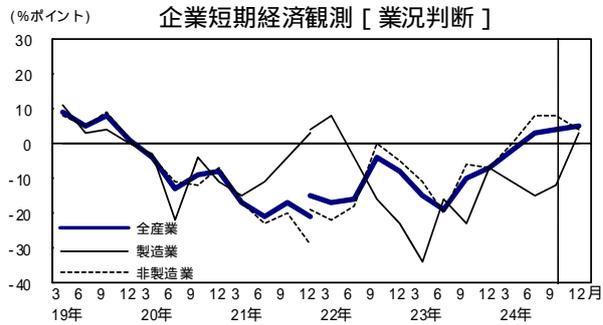
	24年1-3月	4-6月	7-9月	24年10月
入域観光客数	1,373	1,332	1,665	520
(前年比)	8.9	16.8	3.3	0.8
ホテル稼働率	71.2	64.3	76.1	-
(前年差)	6.0	9.3	1.8	-

(備考) 1. 入域観光客数は中総県観光政策課調べ。

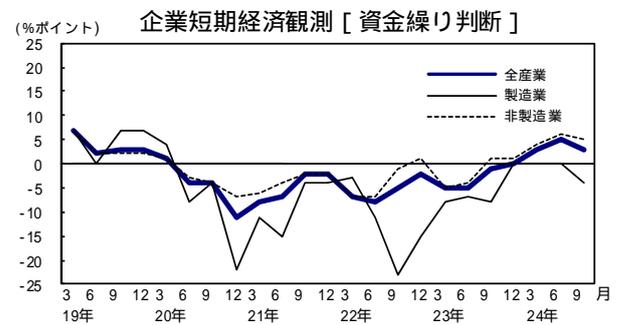
2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が横ばいとなっており、資金繰り判断は「楽である」超幅が縮小している。

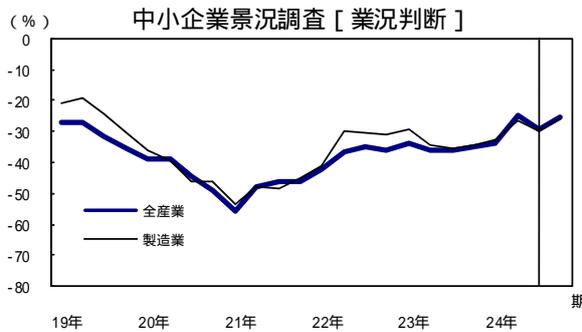
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。24年12月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。24年 期は見通し。
九州(含む沖縄)地区のD I。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

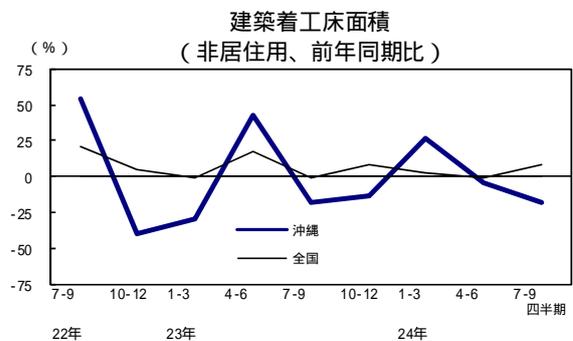
「前年ほど観光業界はひどくなく、好転の兆しはあるが、今年は天候要因が業績に大きく影響している(会計事務所)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 24年度の設備投資は前年度を上回る計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	23年度実績	24年度計画
全産業	14.3	5.5(2.8)
製造業	19.3	44.0(4.6)
非製造業	13.8	1.4(4.0)

(備考)()は前回(6月)調査比修正率。石油・電力を除く。



2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに増加している。

百貨店販売額、スーパー売上高

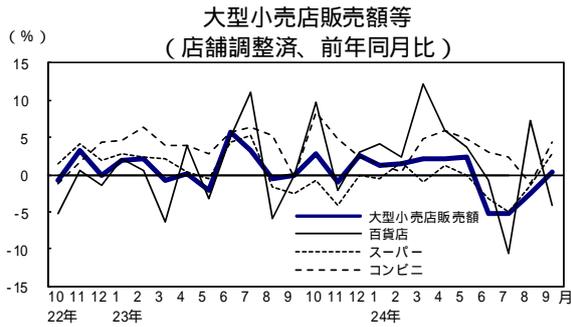
大型小売店販売額は、前年同期比で2.6%減、前期比で1.2%増となった。

百貨店は、昨年よりも旧盆の時期が遅くなった影響から、7月は前年を下回ったが、8月はお中元需要により食料品等が好調だったこと等から前年を上回った。9月は台風による客数の減少等により、前年を下回った。

スーパーは、台風の影響や衣料品、住居関連の減少等により、前年を下回った。

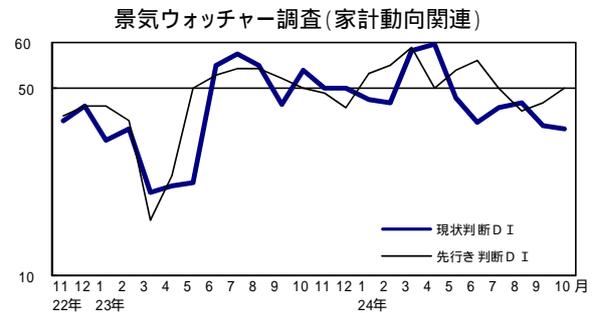
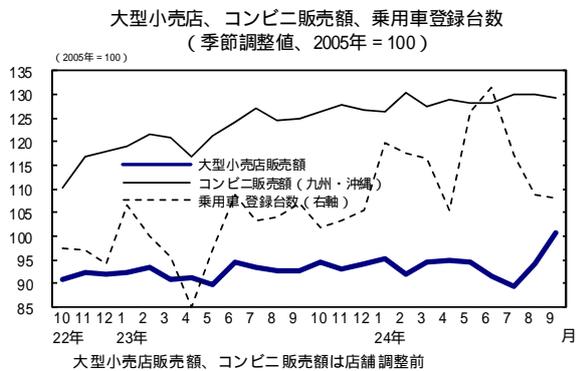
景気ウォッチャー調査(9月)[家計動向関連(現状)]

「客室稼働率の前年比は、3か月前と同様の数字である(観光型ホテル)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	23年10-12月	24年1-3月	4-6月	7-9月
大型小売店(*1)	1.6	1.6	0.3	2.6
百貨店(*1)	3.2	6.2	2.9	3.2
スーパー(*1)	1.6	0.0	0.7	1.3
大型小売店(*2)	3.0	3.5	2.3	1.3
(季節調整値)(*3)	(0.9)	(0.1)	(0.2)	(1.2)
乗用車(*4)	19.9	45.3	63.8	18.9
(季節調整値)(*4)	(2.7)	(33.0)	(5.6)	(16.0)

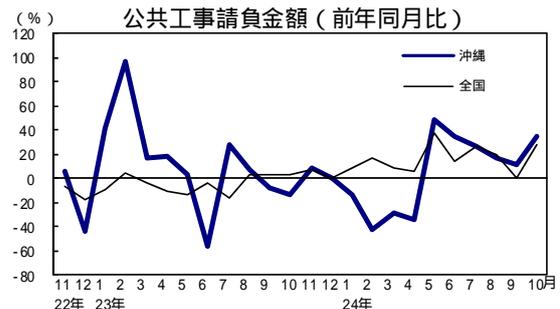
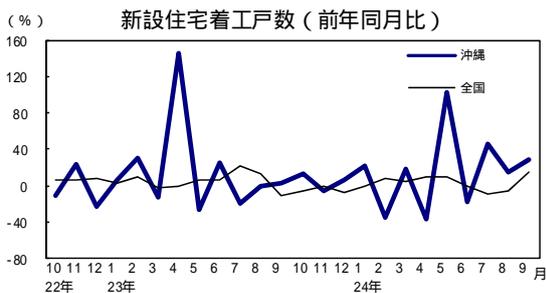
- (備考) 1. 大型小売店は経済産業省調べ(店舗調整済) 百貨店、スーパーは日本銀行那覇支店調べ(いずれも既存店) 前年同期比(%)
 2. 店舗調整前、前年同期比(%)
 3. 店舗調整前、前期比(%)
 4. 乗用車は乗用車新規登録・届出台数。(上段:前年同期比、下段:前期比、%)



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

分譲が前年を下回ったものの、持家、貸家が前年を上回ったことから、全体では大幅に増加している。

(3) 公共投資は24年度累計で見ると前年度を上回っている。

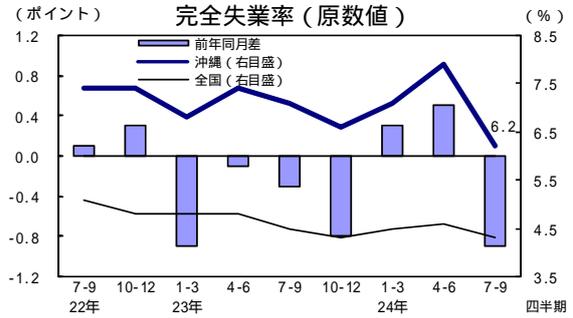
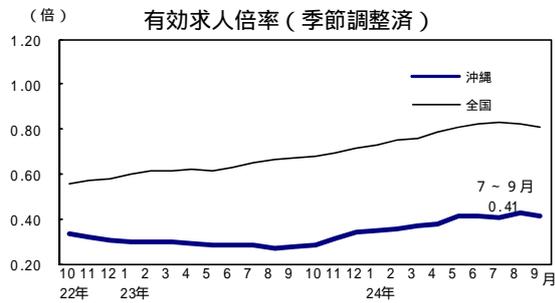


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は厳しい状況にあり、持ち直しに足踏みがみられる。

有効求人倍率及び完全失業率等

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考) 沖縄県の完全失業率は、沖縄県「労働力調査」より算出。

景気ウォッチャー調査 (10月) [雇用関連 (現状)]

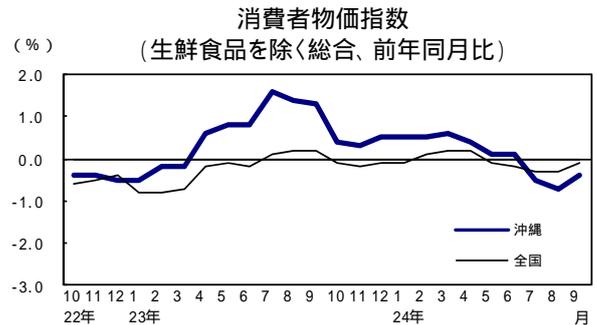
「前月に比べ、新卒対象の求人数が4割減っている。1人あたり求人倍率が高くなっている (学校[専門学校])」など、「悪くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は下落に転じている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	23年10-12月	24年1-3月	4-6月	7-9月	24年10月
倒産件数	16	19	16	19	5
(前年比)	23.1	5.0	36.0	9.5	0.0
負債総額	19	40	18	26	4
(前年比)	6.0	92.1	40.8	74.8	50.2



景気ウォッチャー調査 (10月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・台風の襲来が多く、輸送量は減っているが、その分受注残として残っている (輸送業)

<先行き>

・天候不順が回復し、前年に無いイベントが増えていて、来客数増が見込まれる (コンビニ)

